

令和 3 年度

第 2 回

教育課程編成委員会報告書

於：令和 4 年 3 月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

## 第2回教育課程編成委員会 報告書

日時：令和3年3月14日（月）10：30～

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：s o r a 伊藤秀一先生 スタジオ エーワン 小出誠司先生  
松林校長 柏原教務主任 中澤主任

### 【議 事】

#### 1. 校長挨拶

お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。今年度はこの仮校舎でどれだけ満足してもらえるのか、コロナ禍の中学びの補償をするためにはどのようにしていくべきかのこの2点に重点を置いてまいりました。主任を中心に、担任の先生方がご苦労され、無事に1年を終えようとしています。仮校舎であるということとコロナ禍であるということで、本校としての課題も見えてきました。来年度はこの課題に対してどう取り組んでいくかがスタートになっていくと思います。本日も、先生方からご意見頂戴し、教育活動を充実させていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

#### 2. 自己評価委員会、学校関係者委員会報告(資料1)(資料2)

#### 基準に沿って説明

(伊藤先生)コロナ禍でもやれることに取り組んで、オンラインのナガコレやビューコレ、実務実習もやれない時期もあったがやることができた。コロナ禍であるため、接客の指導が難しかったと思う。サロン側もメンタル面が弱い人が増えているので、気を使いながら指導している。ウェルカムパーティや飲み会などで、先輩から美容師について学びだんだんわかってくる場合が多かったが、今の時代はそういった機会がなく、サロン側も手探りである。学校もサロンも気を使いながら丁寧に指導しているが、お客様は変わっておらず、理不尽な事も多々ある。個々に沿った指導をしていても、お客様がその子に沿った対応をするわけではない。アシスタント時代を過ごせても、スタイリストになったときにお客様がついてきてくれるのか、何年後にどんな影響があるのか難しい。

(小出先生)1年間仮校舎の中、お疲れさまでした。パーマ液が使用できないということで、いいカリキュラムが発見できたことは素晴らしい。問題があってそれに対していい解釈をして転換していく。2年生は仮校舎であっても良い気分転換ができて、1年生は新校舎、新カリキュラムにワクワクと期待感を持っていると思う。美容師として接客の一つに地域に貢献するということも大事な事だ。地域の行事やイベントへの参加。お客様からの地域の情報を仕入れ、違うお客さまに情報として伝える。地域の交流の場としても必要な場所である。地域の人に受け入れられ温かく見守っていただき良かった。今回の仮校舎での生活は、良い体験になったと思う。

### 3、令和3年度重点目標振り返りと令和4年度重点目標

(小出先生)重点目標である、「あたり前のことがあたり前にできる」が大事である。ふてくされてしまう生徒も何かのきっかけで変われると思う。根気強く頑張っていたきたい。ナガコレや、NHK職場体験など人と関わって得るものは多い。是非、体験してもらいたい。また、大運動会はストレス発散の良い気分転換になったようなので、1年に1回体を動かすことはいいと思う。

(伊藤先生) インスタも軽い感じになってきていい。授業風景だけだと堅苦しく、今年は楽しさが伝わってよかった。HPは確かに硬いので、早めに対応必要。挨拶は凄く大事。ここの生徒はよくできている。(中身が大事)だと教育環境に重点を置いていていいと思う。入学した生徒の人生、何が大事か。アシスタントになることではなく、技術力、接客力のある技術者になるために学んでいる。

### 4、令和4年度カリキュラム、シラバスについて

①ヘアデザイン カラー30H・外来カット 30H・パーマ 30H 計 90H

(伊藤先生)カットよりもカラーに興味のある人が増えている。カットは難しいと感じてしまうのか?ブリーチ毛に対しての技術が増えている。ブリーチ毛の知識があるといい。

(小出先生)ホット系パーマや縮毛矯正が増えている。縮毛矯正はトラブルが多いので、トラブルについても知識として学ぶようにしていただきたい。

#### ②シャンプー・ヘッドスパ

新校舎では3階にバックシャンプー、4階にサイドシャンプーの実習室が完備されている。

(伊藤先生)サイドシャンプーはどんどん減って、ほぼバックシャンプーになってきている。シャンプーは技術者の気持ちがお客様にダイレクトに伝わる。教科書に沿ってということなので、ベースはそこだから、サロンそれぞれのマニュアルがあったとしても教科書に沿って教えていただくと、サロン側も引き続き教えやすいと思う。

(小出先生)新校舎でのシャンプー授業が生徒にとっても楽しみだと思う。「気持ちいいシャンプー」は即戦力となる。お客様の満足していただけるように、楽しく気持ちよくしっかり学んでいただきたい。

#### ③選択授業

ネイルではジェルネイル検定、アップセットは様々なヘアアレンジと日本髪、メイクはゾンビメイクからハリウッドメイクに変更。カットは引き続き山本先生にベーシックカット、三水先生にデザインカット。ブライダルも引き続き、網野先生のブライダルの理論と実際、三善さんのブライダルメイク(水化粧含む)、藤原先生の洋装ヘアと和装ヘア及びドライフラワーのワイヤリングをご指導していただく。新たにカラーとまつ毛エクステーションを導入。カラーとまつ毛エクステーションは希望者が多かった。

(伊藤先生)一般的にも、カットよりカラーのほうに興味があるようだ。ちょっと前までは、カットのデザインに似合うカラーを選択していたが、いまはカラーを楽しむためのカットスタイルに変わってきている。まつ毛エクステーションになぜ人気が集まっているのか?

(学校)まつ毛エクステーションと共にまつ毛カールや眉毛アートの技術も入っている。高校生はメイクに興味がある人が多いが、自分が綺麗になりたいという想いもあると思う。まつ毛エクステーションも自分が綺麗になりたいということも含まれていると思う。

(小出先生)まつ毛エクステーションの授業は選択者のみで、それ以外の人は学ばないのか。

(学校)美容実習の中に含まれているため、2年次に全員、まつ毛エクステーションの衛生やトラブルについて。また実際に装着する授業を入れている。選択授業では更に技術向上と知識をつけ、JEA検定を取得できるように組まれている。

(学校)高校生が自分が綺麗になりたいという理由で、メイクに興味を持っていることから、美容科にメイク検定が必要かということも検討したいと思っている。今、導入しているメイク検定は、3級がクレンジングからのスキンケア～ベースメイク。2級が決められたポイントメイクとなっていて、手技の順番なども決められている。

(学校)着付け・カットの60時間も、今後検討していきたい。どちらも必要な技術と知識であるのに60Hの差がそれぞれについてしまい、国家試験に向かう中、不平等さを感じる。全員が基礎を学べるような仕組みにしていきたい。

シャンプーやトリートメントなどの薬剤の知識には、毛髪科学の知識が重要と思う。美容師としてサロンで働く際に、必ず必要と思われる内容とそうでない内容を精査し、今後もカリキュラムを検討していきたい。

## 5、職業実践専門課程における教職員研修

職業実践専門課程の連携はメイク、ネイル、カラー、カット、コミュニケーション

来年度の目標のように、教職員の技術はもちろんメンターとしての指導力向上を目指している。コミュニケーションの研修を主に入れていきたい。

(伊藤先生)コミュニケーションは大事なところ。

(小出先生)先生たちが自信を持つことで、生徒たちには2倍にも3倍にもなって力をつけると思う。是非生徒指導に活かしてもらいたい。

## 6、生徒の様子及び業界から

【生徒の様子】当初心配であったビル周辺からはほとんどクレームがなく、「明るくていい」と温かく見守っていただけた。生徒が安心して通うことができ、新学期良い形でスタートできる。周囲への配慮や、満足度を上げるためのイベントなどで、自主性が高い生徒が育った。反面、誰かについていないと不安でしょうがないという生徒が浮き彫りになった。技術面学力面でも、高い生徒と低い生徒の差が大きく、どこに焦点を合わせるべきか難しかった。人に対してドライな部分があったり、あきらめが早かったり、将来設定ができていない生徒もいる。資格取得をするためには、練習の積み重ねや知識をつけるための勉強が必須であるが、詰め込み教育は負担になってしまう生徒もいる。個々の力を伸ばせるような選択ができるカリキュラムや授業内容を検討していきたい。「今までが功だったからこう。」ではなく、助け合い、お互いを尊重し、足りないところを話し合いながら、多様性に対応していきたい。

### 【業界から】

(小出先生)少子化にも関わらず 132 名という多数の新入生を迎える。日本は少子化が進み、長野市の人口も現在は 37 万人であるが、25 年後には 31 万に減少する。人出不足の解消のため、外国労働者の受け入れが可能になってきている。コロナの影響でなかなか進んでいないようだが、今後そのような動きにも対応していかなければならない。

また卒業した 2 年生にも、新校舎見学会など何かしらやってあげたほうがいいのではないかと思う。

(伊藤先生)まん延防止等の中でも美容業界はお客様が減ることはなかった。また不景気にも強い業種である。それだけ生活に密着している。生徒が卒業し、美容師としてたくさんお客様をもって自信をつけて歩いていくことが大事。コロナ禍で人と関わる機会が減り、年上や先輩が苦手だとか、指導を過大に受け止めてしまう傾向があると思う。学校もそうだがサロン側も、まずは信頼関係を築くことが大事だと思う。

### 【校長より】

先生方のご意見、ありがとうございました。「信頼関係が大事」その通りだと思います。お昼時間の外出許可、コインパーキングも十分あるため自動車も自由とした。大人としての扱いをすることにより、大人としての振る舞いをしていた。ここでの経験を今後活かしてコミュニケーションをとりながら進めていきたい。

次回予定 令和 4 年度第 1 回教育課程編成委員会

令和 4 年 8 月 8 日 ( 月 ) 10 : 30 ~